



令和4年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和3年11月9日

上場会社名 東洋精糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2107 URL <https://www.toyosugar.co.jp>
 代表者(役職名)代表取締役社長 (氏名)大浦 理
 問合せ先責任者(役職名)取締役管理本部長 (氏名)吉武 孝夫 (TEL)03(3668)7871
 四半期報告書提出予定日 令和3年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和4年3月期第2四半期の連結業績(令和3年4月1日~令和3年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
4年3月期第2四半期	6,663	5.1	327	△22.9	375	△20.8	264	△22.8
3年3月期第2四半期	6,339	△9.7	425	△21.6	474	△18.8	342	△17.6

(注) 包括利益 4年3月期第2四半期 257百万円(△26.5%) 3年3月期第2四半期 351百万円(△10.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
4年3月期第2四半期	48.45	—
3年3月期第2四半期	62.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
4年3月期第2四半期	11,128	9,480	85.2
3年3月期	11,184	9,413	84.2

(参考) 自己資本 4年3月期第2四半期 9,480百万円 3年3月期 9,413百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
3年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
4年3月期	—	0.00	—	—	—
4年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和4年3月期の連結業績予想(令和3年4月1日~令和4年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,800	△0.8	720	△13.1	790	△13.0	550	86.1	100.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

4年3月期2Q	5,456,000株	3年3月期	5,456,000株
4年3月期2Q	3,308株	3年3月期	3,308株
4年3月期2Q	5,452,692株	3年3月期2Q	5,452,692株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の断続的な発出により社会経済活動の動きは鈍く、ワクチン接種の進捗はあるものの、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、「新型コロナウイルス感染症対策本部」のもと感染防止対策を徹底するとともに、事業活動においては衛生管理と感染リスクの対策を徹底のうえ、製品の安定的な生産・供給に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高6,663百万円(前年同期比5.1%増)、営業利益327百万円(前年同期比22.9%減)、経常利益375百万円(前年同期比20.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益264百万円(前年同期比22.8%減)となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これにより売上高は309百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益には影響はありません。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

砂糖事業

販売量は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の進捗や人流の増加等により、前年同期の同感染症拡大の影響による大幅な減少からは一定の回復が見られ、売上高は6,019百万円(前年同期比4.4%増)となりましたが、未だ平年並みの水準には戻らない状況であります。営業利益は、ニューヨーク粗糖先物相場の上昇と円安等の影響を受けた原料輸入価格の高騰等により、496百万円(前年同期比19.2%減)となりました。なお、収益認識に関する会計基準等の適用により売上高は309百万円減少しておりますが、営業利益には影響はありません。

機能素材事業

販売量は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続いているなか、新規ユーザー獲得及び企画商品への製品採用により飲料・一般食品向けのルチンやステビアが好調に推移したことや海外向け化粧品原料が回復基調であることから前年同期を上回り、売上高は644百万円(前年同期比12.3%増)、営業利益は113百万円(前年同期比36.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、商品及び製品や原材料及び貯蔵品の増加などがあるものの、現金及び預金や受取手形、売掛金及び契約資産の減少などにより、前連結会計年度末に比べ56百万円減少し11,128百万円となりました。負債合計は、支払手形及び買掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ123百万円減少し1,648百万円となりました。純資産合計は、配当金の支払などがあるものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末に比べ67百万円増加し9,480百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の84.2%から85.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和4年3月期の連結業績予想につきましては、令和3年5月13日付「令和3年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和3年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和3年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,491	3,282
受取手形及び売掛金	1,346	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	1,184
商品及び製品	1,021	1,065
仕掛品	152	137
原材料及び貯蔵品	786	1,018
短期貸付金	854	860
その他	74	92
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	7,716	7,629
固定資産		
有形固定資産	419	419
無形固定資産	27	24
投資その他の資産		
投資有価証券	956	970
長期貸付金	1,792	1,806
退職給付に係る資産	119	119
その他	158	164
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	3,021	3,055
固定資産合計	3,468	3,499
資産合計	11,184	11,128

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和3年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和3年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	773	654
未払法人税等	128	127
賞与引当金	72	68
その他	393	368
流動負債合計	1,367	1,218
固定負債		
役員退職慰労引当金	38	46
退職給付に係る負債	327	335
資産除去債務	1	1
その他	37	46
固定負債合計	403	429
負債合計	1,771	1,648
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,904	2,904
利益剰余金	6,374	6,447
自己株式	△4	△4
株主資本合計	9,274	9,347
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96	93
退職給付に係る調整累計額	42	39
その他の包括利益累計額合計	138	132
純資産合計	9,413	9,480
負債純資産合計	11,184	11,128

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)
売上高	6,339	6,663
売上原価	4,958	5,582
売上総利益	1,381	1,081
販売費及び一般管理費		
販売費	475	257
一般管理費	481	496
販売費及び一般管理費合計	956	753
営業利益	425	327
営業外収益		
受取利息	12	13
受取配当金	7	8
持分法による投資利益	19	17
その他	10	9
営業外収益合計	50	49
営業外費用		
支払利息	0	0
棚卸資産廃棄損	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	1	1
経常利益	474	375
税金等調整前四半期純利益	474	375
法人税、住民税及び事業税	132	114
法人税等調整額	△0	△3
法人税等合計	132	111
四半期純利益	342	264
親会社株主に帰属する四半期純利益	342	264

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)
四半期純利益	342	264
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	△3
退職給付に係る調整額	0	△2
その他の包括利益合計	9	△6
四半期包括利益	351	257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	351	257

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	474	375
減価償却費	35	37
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3	△4
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△3	△6
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11	10
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△21	8
受取利息及び受取配当金	△20	△21
支払利息	0	0
持分法による投資損益 (△は益)	△19	△17
売上債権の増減額 (△は増加)	△14	161
棚卸資産の増減額 (△は増加)	6	△260
仕入債務の増減額 (△は減少)	△196	△118
未払金の増減額 (△は減少)	11	20
その他	△37	△44
小計	223	139
利息及び配当金の受取額	20	21
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△76	△118
営業活動によるキャッシュ・フロー	166	42
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△24	△38
無形固定資産の取得による支出	-	△0
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
貸付けによる支出	△430	△450
貸付金の回収による収入	449	431
その他	△2	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△271	△189
リース債務の返済による支出	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△271	△190
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△114	△209
現金及び現金同等物の期首残高	3,229	3,491
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,114	3,282

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、従来は販売費及び一般管理費に計上しておりました販売促進費等の一部を、売上高から控除しております。また、同一の顧客と同時に締結した複数の契約について、従来は契約毎に売上高及び売上原価を計上しておりましたが、同一の商業的目的を有するものは単一の契約とみなし、当該契約に係る売上原価を売上高と相殺しております。

収益認識会計基準等の適用については収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は309百万円減少し、売上原価は88百万円減少し、販売費及び一般管理費は220百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益には影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高にも影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	砂糖事業	機能 素材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,765	573	6,339	—	6,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	△0	—
計	5,766	573	6,339	△0	6,339
セグメント利益	613	83	697	△272	425

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	砂糖事業	機能 素材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,019	644	6,663	—	6,663
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	△0	—
計	6,019	644	6,663	△0	6,663
セグメント利益	496	113	609	△282	327

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「砂糖事業」の外部顧客への売上高は309百万円減少しておりますが、セグメント利益には影響はありません。また、「機能素材事業」の外部顧客への売上高及びセグメント利益には影響はありません。